

第3章 今後の取り組み方針

- 3. 1 次世代農業に関する今後の取り組み
- 3. 2 環境と観光に関する今後の取り組み

3. 1 次世代農業への取組み

該当 番号	事業項目	利活用策	H20 年度	H21 年度	H22 年度
			内 容	内 容	内 容
①	諫早湾干拓地エコランド 実証試験事業	次世代型農業の展開	太陽光発電実証，電動農耕機実用化試験，全体システム実証，耐久試験 バイオマス燃料活用検討		
②	大規模農業に対応した 機械，施設の導入	大型，先進的機械等を活用した大規模で 企業的な農業経営	トラクター，収穫機，集出荷 施設等導入	収穫値，乾燥施設導入	
③	IPM（総合的病害虫・雑草 管理）技術の導入	減農薬，減化学肥料栽培等による環境保 全型農業の展開 （原料別栽培農産物，有機栽培農産物の 生産）			防虫灯整備
④	低コスト耐候性ハウスの 設置	ハイブリッド加温システム等の省エネ ルギー技術の導入	低コスト耐候性ハウス設置	同左	同左
⑤	省エネルギー加温システ ム整備	諫干農地の特性（広大で平坦，ミネラル を豊富に含む土壌，栽培履歴がない等） を活用した特長ある農産物の生産	ハイブリッドタイプ加温シス テム整備	同左	
⑥	コンポスト処理施設整備 （野菜くず・除草等植物残 渣堆肥化施設）	農作物残渣等の有効活用と周辺畜産農 家との連携による循環型農業の展開等			施設整備
	堆肥広域流通のモデル 育成		諫干地域等と畜産地帯との堆 肥の流通モデルの育成	同左	同左
⑦	農業者と実需者（食品加工 業者・流通業者等）との マッチング	新たな流通形態，販路開拓	- 新たな流通形態・販路拡大 に向けた農業者・実需者意 見交換・商談会開催 - 販売戦略等農業者戸別コン サル実施	同左	同左

3. 2 環境と観光に関する今後の取組み

該当 番号	事業項目	利活用策	事業の概要
①	親水空間の創出	諫早湾、調整池、遊水池、本明川河口口 などにおける親水空間の整備	諫早湾干拓事業における大きなテーマである水との関わりを更に深めるため、水辺において、ベンチや遊水施設等を整備する。
②	自然環境保護	エコカー試験コースの整備	中央干拓地内の幹・支線道路を活用したエコカーの試験コースを整備する。
③	自然環境保護	エコカーレースの誘致	エコカー試験コースの整備に伴い、エコカーレースも誘致する。
④	自然環境保護	環境保全型農業の実証実験	農業への太陽光発電、バイオマス燃料の活用について実証実験を実施し、視察団、修学旅行などの受入を促進する。
⑤	環境保全のランドマーク	C S R 導入促進	諫早湾干拓地を民間企業におけるC S R活動地域として位置づけて頂き、交流人口の拡大と地域価値向上を図る。
⑥	水産業の振興	鰻、スッポン養殖	中央干拓地内の、栄養価の高い水が豊富な遊水池において「鰻」「すっぽん」を養殖し、特産品の生産、販売をさらに促進する。
⑦	環境保全型農業の確立	環境保全型農業のモデル地域としての 地位確立	1区画6haの大規模かつ環境保全型の農業モデルの先進地として研究、情報発信することによる視察等による交流人口拡大を図る。
⑧	新たなブランド創出	諫干ブランドの確立	諫早湾干拓地の栽培される低農薬の“エコ野菜”や“スッポン”などの高付加価値化やそれらを利用した限定メニューなどの創出。
⑨	域内循環型モデルの構築	植栽を活用した資源創出	中央干拓地内の幹・支線道路のロードサイドへ菜の花、椿など資源として有効活用できる品種を植栽し、環境保全型農業への活用と修景を図る。
⑩	域内循環型モデルの構築	太陽と大地の恵により営まれる町の創 出エコタウンモデル地域	太陽光発電等による新エネルギーの創出、農家の生活、農作物の生産、特産品の創出等を域内で完結できるスキームを構築し、それらに使用されるエネルギーを太陽光発電等で賄い、さらにそれらに使用された資源を再活用できるしくみを検証し、全国に情報発信する。
⑪	農業体験の場	農業についての学びの場創出	子どもたちを対象とした、農業や食について学べる施設を整備し、農業学習の拠点施設とする。

該当 番号	事業項目	利活用策	事業の概要
⑫	農業体験の場	宿泊型農業体験施設の整備	干拓地内に農家住宅や宿泊体験施設を整備し、農業体験の促進と交流人口拡大を図る。
⑬	農業体験の場 環境学習の場	修学旅行の誘致	干拓歴史文化資料館の整備などにより干拓と水環境、新たな生態系といった総合的な環境学習、様々な農業体験など出来る場として、修学旅行を誘致する。
⑭	環境学習の場	ビオトープの設置	小江干拓地における干陸地にビオトープを設置し、自然環境学習の拠点とする。
⑮	健康づくりの場	ウォーキングコースの整備	・内部堤防上に舗装整備が計画されており、それらを活用したウォーキングコースを整備する。 ・潮受け堤防道路の歩道部分について、両端を起点とした距離等を表示することで、ウォーキングコースとしての図る。
⑯	趣味、スポーツの実施場所	マラソン大会等の実施	内部堤防道路、潮受け堤防道路を活用し、ツデーウォークなどのウォーキングや駅伝大会などを誘致する。
⑰		観鳥施設等整備	自然干陸地に数多く飛来する鳥類の観察ポイントとするために、解説板の設置や観察ポイントマップなどを作製する。
⑱		ラジコン飛行場の整備	小江地区の干陸地は広大なスペースがあり、国道との連結も容易なため、各種イベントやニッチ市場を対象とした施設を整備し、交流を促進する。
⑲	憩いの場	エコ・レストラン等の設置	干拓地内で取れた野菜等を提供するレストランや直売所を設置する。
⑳		干拓地内案内サインの整備	広大かつ同じような光景が広がる干拓地において、来訪者が迷わずに回遊できるような案内板などのサイン整備を推進する。
㉑		観光マップの作成	干拓地マップ、周辺地域における水マップ、食事マップ等観光客の回遊性を高めるしくみを構築する。
㉒		花畑の設置	ほ場や堤防法面、幹支線道路脇等への菜の花、ひまわり、椿などを植栽し、景観形成と資源活用を図る。
㉓		ユニバーサルデザインの導入	木道、展望台、休憩所など干拓地内における施設、道路、トイレなど環境のみでなく人にも優しいエリアとする。

該当 番号	事業項目	利活用策	事業の概要
㉔	憩いの場	各種イベントの開催	自然干陸地における各種イベントの開催
㉕	歴史文化の伝承	干拓の歴史資料館の強化	干拓の里や干拓堤防道路管理事務所に干拓資料館が設置されているものを、1カ所に集約し、干拓の歴史伝承の拠点施設とする。
㉖		観光ガイドの育成と組織化	観光客が地域の歴史を肌で感じ、感動、共感を得てもらうための観光ガイドの育成とガイドの組織化を図る。